

令和5年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

【第2講座を開催して】

8月18日（金）、秋吉公民館において、令和5年度美祢市人権教育ふれあい講座（第2講座）を開催しました。

『外国人問題』をテーマに、やまぐち外国人総合相談センター 統括コーディネーター 数井 聡美（かずい さとみ）氏から、「外国人との共生社会の実現に向けて」と題して御講演いただきました。



現在美祢市で生活する外国籍住民の人数や国籍、在留資格の割合などの具体的な数値を示していただくとともに、国籍が違っていても同じ市民であることについて御教授くださいました。また、私たちがもつ外国人のイメージが作り出す無意識の偏見（マイクロアグレッション）についても教えていただきました。

美祢市においても、これからさらに外国籍住民が増えていくことが予想されます。諸外国に対する勝手なイメージでその人を見るのではなく、私たちと同じ市民として、その人自身の個性をありのまま受け入れながら接していきたいと思えます。

美祢市においても、これからさらに外国籍住民が増えていくことが予想されます。諸外国に対する勝手なイメージでその人を見るのではなく、私たちと同じ市民として、その人自身の個性をありのまま受け入れながら接していきたいと思えます。

【受講者の主な感想】

- 日本における外国人との交流とその難しさについて学ぶことが出来た。
- 業務で外国人の対応があるのでとても勉強になりました。
- 外国人についてよくしることができた。
- 実際の事例などをもとに具体的な注意点をわかりやすく伝えてもらい理解しやすかった。
- コミュニケーションツールとしてスマホの活用方も説明があり実践的な講演であった。
- 日本人の当たり前が外国人の当たり前でないことを知れて良かった とても大切なことをわかりやすく講話していただきました。本当にありがとうございました。
- マイクロアグレッションはドキリとする内容で、自分を含めて身の回りで行われているのではないかと思いました。「自分の当たり前が相手の当たり前ではないこと」外国人相手に限らず、自分の言動を振り返るよい機会になりました。
- 外国人の困ることや起きている問題が具体的に分かり、学校にもしも転入、入学等あれば

どう対応していくのか考えるきっかけとなった。

- 伝え方の難しさや大切さに気付きました 自分の当たり前は他人にとっては当たり前じゃないことを自覚し、相手を理解し、尊重することが大切だと感じました。
- 日本に住む外国の人が、英語よりもやさしい日本語での情報発信を望んでいることが意外でした。窓口で外国の人がいらっしゃると言葉が通じるだろうかと思いましたが、やさしい日本語を意識して丁寧にお話をしていきたいと思います。
- お互いを尊重し合うという、ちょっとした気遣いが大切だと感じた。
- 海外に行くと、まず言葉の壁を経験する。住むとなると沢山の壁があり、様々な思いの中で暮らしておられるのだと思いました。仕事でもプライベートでも外国の方と関わることが今後もあると思いますが、今日の講座で学んだことを活かしていきたいと思います。
- 自分は外国語で会話ができないので外国の方と接する時にどうしたらよいか考えてしまうのですが、少しの工夫で伝わりやすくなることがわかりました。国籍関係なくわかりやすい表示や表現をする必要があることがよくわかりました。
- 増加していく外国人労働者問題のさまざまな側面を知ることができた。